

# 2020年度 長寿の里 事業報告

自令和2年4月 1日  
至令和3年3月31日

# 2020年度 長寿の里 事業報告

## 年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R1 実績	96.6	94.0	95.2	94.9	94.6	95.9	96.0	95.9	95.6	95.6	96.0	94.2	95.4
	R2 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	R2 実績	94.4	93.8	94.1	94.8	96.1	96.3	96.0	96.2	97.0	95.8	96.2	96.8	95.6
短期	R1 実績	87.6	99.2	96.9	98.6	101.2	95.5	98.7	108.8	97.2	93.2	101.2	98.3	98.0
	R2 目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	R2 実績	94.2	95.8	96.4	95.9	96.1	100.8	97.0	98.4	92.9	96.5	102.0	97.7	97.0
通所	R1 実績	94.4	94.1	94.7	95.1	92.3	94.1	93.0	95.3	96.2	93.1	93.7	93.6	94.1
	R2 目標	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5
	R2 実績	87.9	89.0	95.9	93.4	89.5	92.2	96.6	94.7	93.5	89.0	83.4	91.0	91.3
ケアハウス	R1 実績	93.7	95.6	96.2	94.5	95.1	97.3	99.4	97.8	95.4	94.9	99.3	96.8	96.3
	R2 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	R2 実績	96.8	97.9	99.3	98.7	98.0	98.6	99.9	99.4	99.5	97.8	99.7	97.9	98.6
サ高住	R1 実績	96.0	96.9	96.8	93.4	92.1	91.6	92.6	92.3	95.7	93.3	96.8	96.0	94.5
	R2 目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
	R2 実績	96.0	93.9	92.3	84.3	88.5	91.3	89.2	87.2	85.2	94.4	98.0	98.0	91.5
有料	R1 実績	93.0	97.4	95.0	97.5	85.0	86.5	85.0	97.5	100.0	89.8	91.5	82.7	91.7
	R2 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R2 実績	92.0	95.0	100.0	98.0	100.0	100.0	96.0	95.7	93.0	94.0	92.0	94.0	95.8
訪問(件数)	R1 実績	3802.0	3946.0	3938.0	4039.0	3955.0	4262.0	4420.0	4182.0	4022.0	4156.0	4122.0	4362.0	4100.5
	R2 目標	3915.0	4042.0	3915.0	4042.0	4042.0	3915.0	4042.0	3915.0	4042.0	4042.0	3665.0	4042.0	3968.3
	R2 実績	4210.0	4450.0	4350.0	4638.0	4450.0	4043.0	4140.0	4006.0	4516.0	4326.0	4194.0	4284.0	4300.6
居宅(件数)	R1 実績	111.0	115.0	116.0	112.0	114.0	119.0	118.0	125.0	119.0	128.0	119.0	110.0	117.2
	R2 目標	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0
	R2 実績	95.0	100.0	100.0	100.0	95.0	94.0	91.0	96.0	91.0	89.0	87.0	74.0	92.7
GH	R1 実績				48.6	47.1	50.0	50.0	46.1	64.0	71.0	83.1	98.0	62.0
	R2 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R2 実績	94.1	97.1	100.0	100.0	100.0	96.9	99.6	100.0	99.5	96.2	98.4	100.0	98.5
小多機	R1 実績				95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R2 目標	80.0	80.0	80.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	87.5
	R2 実績	67.5	72.2	69.7	72.7	79.2	85.2	79.8	78.7	86.5	78.8	74.7	89.2	77.9

# 2020年度 鎌ヶ谷翔裕園 事業報告

<b>施設基本方針</b>	
<p style="text-align: center;">ポジティブ改革 ～多様性と調和～</p>	
<b>施設年度目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人財確保</li> <li>・安定した運営と適正な経営</li> <li>・鎌ヶ谷市地域への地域貢献活動</li> </ul>	
<b>重点項目に対する実績報告(各事業ごと)</b>	
<p>【特養】 年間平均稼働率 96.5% (従来) 96.6% (ユニット)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度比で従来型は稼働率が約1%増、ユニット型が約1%減、合算で前年比0.6%で目標達成となりました。要因としては、ショートステイとの連携や、入居申請者への早めの事前調査、こまめな連絡による入居調整などにより、入退去の空床期間を年度平均0.9日に抑えられた点が挙げられます。入院者は毎月5名前後となっており、コロナを始めとする感染症に対して、医務課を筆頭に全職員が感染対策を継続していることも目標達成の要因の一つと言えます。</li> <li>・年度を通じて、外出や集団活動の自粛、面会の禁止をしなければならない状況において、いかにしてお客様の生活を継続していけるかが課題でした。パーティションや空間除菌機器、消毒液の自家生成などを導入し、職員への感染症対策研修を四半期に一度のペースで実施しました。対策を徹底しつつ行事やイベントを実施することで、コロナ前と変わらない生活を維持するばかりか、従来よりも新しい楽しみの提供が出来ました。</li> </ul> <p>【短期入所】 年間平均稼働率 95.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働率は前年度比で1.6%増でしたが目標達成には至りませんでした。コロナ対策は特養と同様に行っており、感染者は一人も出る事無く活動出来ました。また、ロング利用の方は二階、通常利用の方は一階と建物の上下でゾーニングすることで、感染者が万が一発生した場合のリスクヘッジも行っております。マスク作りなど、コロナ禍ならではの工夫を行うなど、悲観的に捉えずに楽しんで感染対策をしながら活動することが出来ました。</li> </ul> <p>【通所・鎌ヶ谷】 年間平均稼働率 91.1% (定員35名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度比で3.1%減となり、目標の達成には至りませんでした。例年よりも他施設への入居やご逝去などが多かったため減数の補填が思うように進まずに低迷した時期があった事が大きな要因です。コロナ禍でも「通いたい」と思ってもらえるサービスへのバージョンアップが次年度への課題となりました。</li> <li>・営業活動については、撮影した動画をケアマネやご家族に見て頂くなど、見せ方の工夫をしながら毎月の目標件数が達成できるようにショートステイ担当相談員と協力して活動致しました。</li> </ul> <p>【居宅】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設入所や入院などで解約件数が多くありましたが、同時に新規依頼も多く、稼働率を維持する事が出来ました。年度末をもって、居宅の在籍職員が2名から1名に移行したため、下期は実績が減少傾向となりました。</li> <li>・各専門職と連携を図りながら、ご利用者に対して迅速に対応して個々に合ったケアプラン作りに努めました。</li> </ul> <p>【全体総括】</p> <p>コロナの感染対策を多方面から実施し、年度を通じてお客様・職員共に感染者を0に抑える事が出来ました。それだけではなく、お客様の楽しみを損なわないために、定例行事を感染対策をしながら実施してYoutubeLiveでご家族にご視聴頂ける様にしたり、外出自粛に対してはOhanaCafeを足湯やひな祭り、イルミネーションなど月毎のテーマで開催いたしました。お客様のご様子報告を文章や写真で全事業所実施したり、web面会を実施しご家族との繋がりにも配慮しました。また、お客様やご家族だけでなく、コロナ禍において頑張っている職員が少しでも安心して仕事出来る様にするために、5月、6月に国から支給された慰労金とは別に、独自に慰労金を支給いたしました。職員自身やそのご家族が発熱した場合には、感染症情報に留意しながら早めの勤務調整を行いました。</p> <p>採用力としては、高校・大学卒及び第二新卒者として、法人合算で13名の新卒を迎え入れる事が出来ました。反面、中途採用については苦戦している状況が続いておりますが、年度内で人員不足等が発生する事無く、現任の職員の育成に力を入れてきた結果、過去に新卒で入社した職員達が主任や副主任を担えるまでに成長しております。</p> <p>規模が大きくなっても職員一人ひとりに目を向けていくために、ストレスチェックの実施や、虐待の芽チェックシートコロナ対策チェックなどを各部門で定期的実施しました。法定研修等を実施するだけでなく、職員が考える虐待防止対策を各部門で実施し、主体的に業務を動かす事が出来る組織になるべく活動致しました。</p> <p>理念浸透研修の実施も本格的にスタートし、組織としてレベルアップが実感できる一年となりました。</p>	

## 年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R1 実績	95.0	93.5	95.5	96.2	95.4	97.1	94.6	92.8	96.6	98.6	96.5	96.9	95.7
	R2 目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
	R2 実績	97.4	96.9	96.2	97.1	97.9	97.2	98.5	95.9	94.1	95.1	92.8	95.9	96.3
短期	R1 実績	77.1	88.4	86.6	96.1	99.3	92.3	97.1	100.0	98.0	91.0	100.3	98.9	93.8
	R2 目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	R2 実績	94.3	94.1	93.2	96.3	97.4	98.0	95.2	97.8	89.9	96.3	97.3	95.1	95.4
通所(鎌)	R1 実績	95.7	96.5	95.2	96.6	92.3	93.5	94.3	95.9	97.7	91.3	86.5	94.6	94.2
	R2 目標	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
	R2 実績	86.8	86.8	96.0	91.6	91.5	94.7	100.0	93.4	88.9	85.5	88.0	90.3	91.1
居宅(件数)	R1 実績	72.0	75.0	76.0	74.0	71.0	79.0	76.0	83.0	76.0	84.0	81.0	81.0	77.3
	R2 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R2 実績	71.0	76.0	75.0	75.0	71.0	69.0	67.0	72.0	66.0	64.0	63.0	49.0	68.2

# 2020年度 行徳翔裕園 事業報告

## 施設基本方針

～お・も・て・な・し～  
最上級の心遣いでおもてなしします

## 施設年度目標

1. 情報共有・ケアプラン・技術力・介護記録の充実
2. 基本方針・理念の浸透と意識統一の徹底
3. 直接雇用への切り替え
4. 施設内環境整備とリメイク
5. 地域共生

## 重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

### 【経費】

年間平均稼働率99.2%で目標稼働の98%を達成 前年比では0.6%のアップ

入居の自費宿泊サービスは入居を見据えて2名の方が延べ112泊ご利用されていますが、うち1名は空床が出る前に特養への入居が決まっています。また、年間退居者数8名のうち、6名が下期に集中したため空床期間の低減に繋ぐ事ができず、空床平均は8.0日間となりましたが、感染症対策や体調管理により、入院による空床は9名で延べ99日間と長期入院を防ぐ事ができたことが目標達成の要因となっています。また、開設以来6・7月は入院もなく、100%の稼働を達成することができたことも要因となっています。

### 人員配置と直接雇用への移行

人員配置は上乘せ介護費を取得しているため、2.25:1の目標をほぼ達成しています。派遣職員の直接雇用への切り替えは3名に留まり、目標の5名に達していません。シェアリングデイや研修など、派遣職員も同様に参加し基本方針や理念などグループの思いを伝えて、直接雇用への切り替え糸口作りをしています。

### 介護ロボットやシステム導入による業務改善

まずは既存PCの音声入力機能活用し活字入力が苦手な職員でもスムーズに記録が執れるように、介護課・医務課が中心となって声で記録を執り機能を育てています。

### GG式転倒防止マニュアルの活用

カテゴリー分けしたものを全職員へ周知するためにファイルを作成して番街ごとに置いて職員が見易く、また、レベルに変更があった場合はその場で書き込むことができるようにしています。

### 【通所】

年間平均稼働率94.6%で目標稼働98%に未達 前年比では4.0%のダウン

第3四半期までは、平均稼働98.7%を維持できていましたが、2月はコロナ感染者発生のため営業中止2日間(延べ68名)、縮小営業12日間(延べ227名)の計14日間で合計延べ人数295名が予定利用人数より減となり、57.7%と大幅にマイナスとなり目標未達成の要因となっています。また、月平均で解約2名に対し新規登録が1.8名である事から、解約者の補填が充分にできていないことも要因の一つとなっています。

### 大人の創作活動の提供

ご自宅に飾りたい・プレゼントしたい、と提供いただけるようなその時々々の季節や時流に合わせた創作物を年間を通して月替わりで提供しています。また、創作意欲に繋がるよう、ポスターやお便りで毎月お知らせし完成品はラッピングしてお持ち帰りいただくなどしています。

### 「おもてなしの心」の共通意識

「おもてなしの心」意識をもってお客様と接するために、日々のミーティング時に、言葉遣いやお客様に笑顔で対応できているかなどを互いに確認しあい、また、ソフト面でも会話を大切にしたりレクリエーションを実施しています。

### 居宅介護支援事業所との良好な関係性

他事業所の居宅より全てのお客様をご紹介いただいているため、居宅との良好関係継続にむけて月初と月中での居宅訪問の他、電話やFAXでの情報提供や報告をおこない、広報誌や写真入りの空き情報など通所活動の様子を説明しています。

### 【全体総括】

#### 基本方針や理念を軸とした姿勢や考え方の周知

四半期ごとの職員全体会の開催は実施していませんが、日々の各課ミーティング時には上期は基本理念、下期は職員クレドカレンダーに沿って唱和をおこなっています。また、職員クレド研修では派遣職員を含み全職員対象にしたシェアリングデイを開催しています。また、2020アワードに参加できなかった全職員に方針や理念などの軸についてを浸透するためYouTube配信を観ながら、感動介護などについて各課の主任が少人数での座談会を開催しています。

#### ご利用スペースのリメイクと環境整備

入居・通所共に、浴室前にパウダースペースを設置し、多種のアニティを常備しています。浴後にお好みをご自身で選らんでご利用いただき、お洒落で個別感のあるドレッサーでゆったりと整容していただくことで、寛ぎの整容タイムを提供、また、管理課主任が各課へ声掛けをし環境整備について毎月確認をして、各課で環境整備と美化に取り組んでいます。

#### 地域ニーズに対応した活動の実施

地域の方々へ向けた、除菌水無料配布を継続して実施しています。地域の方々へも、翔裕園で除菌水を無料で配布している事が定着してきています。自治会活動では、地域夜間パトロール実施時に自治会と一緒に参加しています。また、日曜やデイサービス終了後の夕方からなどに施設開放を開放し地域の方々にご活用していただいたり、地域の中で困っていることで翔裕園がお手伝いできることなど、自治会との話し合いの場を持ち次年度の課題としています。

## 年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
軽費	R1 実績	96.8	97.9	99.3	98.7	98.0	98.6	99.9	99.4	99.5	97.8	99.7	97.9	98.6
	R2 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	R2 実績	98.1	99.0	100.0	100.0	99.2	99.4	99.7	99.6	98.9	99.4	98.6	98.2	99.2
通所	R1 実績	99.8	99.8	99.8	99.8	99.0	99.2	97.4	99.8	99.0	99.6	94.4	95.9	98.6
	R2 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	R2 実績	94.4	98.2	99.9	99.9	99.9	99.8	99.0	99.1	98.0	98.2	57.7	91.5	94.6

# 2020年度 いちかわ翔裕園 事業報告

## 施設基本方針

『家族主義』 ～理念の浸透・価値観の尊重～

## 施設年度目標

- ① 時代の変化に合わせ、過去にこだわらず、ゼロからのスタートを意識する
- ② 理念である「家族主義」のもと、一人ひとりのお客様を家族のように大切に考える
- ③ お客様と共に職員も楽しみながら一日を過ごせる環境を整える
- ④ 充実した研修を通して、働きながら学べる施設を目指し意識を高める

## 重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

### 【特養】

#### 管理課 相談部門

目標の稼働率98.2%は達成できました。重点目標である待機しているお客様ニーズに迅速に対応するについては、居宅介護支援事業所・リハビリ病院・老健施設等の相談員やケアマネジャーに定期的な確認の電話をすることで、待機しているお客様の現状を把握し、タイムラグを少なくして入居申し込みに繋げることが出来ました。しかしながら、入居前の急なキャンセルや2～3カ月の長期入院者等の増加、タイムラグが長くなったことで、稼働率が低くなった月もあった為、次年度は常時待機者を確保し続けることが出来るように営業活動に力を入れ、申し込み件数や待機者の増加に力を入れて参ります。個別ケアを重視した生活支援については、お客様の個別性を重視したケアプランを作成し、一人ひとりに対して1回/5週のカンファレンスを実施し、個別ケアの実践を目指しましたが、実際に現場で実践できていない部分もありました。引き続きPDCAサイクルやチェック更新表を活用してよりお客様の個性や生活にあったプランが実施できるように致します。最後までその人らしくお過ごし頂ける環境を整えるについては、居室を第二の家として居心地の良い空間を整え、個々の希望を把握し、お客様に寄り添った終末期のケアの実施に努めました。下期より医務部門の体制が安定せず、看取り介護の環境が整わないことがあった為、来年度は体制を固めて、多職種の連携を強化してケアの向上に努めます。

#### 介護課

新たな福祉用具の導入、既存の福祉用具の台数をニーズに合わせて追加しケアの質の向上に努めました。転倒予防のためセンサーマットを増やし、また新たにシャワーキャリーやスライディングシートを協力ユニットで1台ずつ導入し、お客様の安全と介護職員の負担軽減に努めたことにより、腰痛による退職者や休職者が減少しました。次年度も積極的に福祉用具を活用し、お客様と職員にとって安心安全で負担の少ないケアができるよう取り組んで参ります。ケアプランと連動した個別援助計画書と24時間シートの作成を行い個別ケアの実践においては、ユニットによって差が見られたため、次年度は個別ケアが全ユニット実践できるように致します。また、今年度からユニットリーダーを中心に一か月に一回ご家族様にお客様の様子を伝える「ユニット便り」の作成を始めたことで、コロナ禍の中でも、ご家族様と情報共有ができ信頼関係の構築に繋がりました。継続していくことはもちろんのこと、ご家族が楽しみにして頂けるよう質の向上をしていきます。全職員のやりがいやスキルアップを目的とし、イベントやカンファレンスなど未経験の仕事に挑戦できる場を設け、経験を積み視野を広げて自身が成長できる環境を整えました。

#### 管理課 栄養部門

四季の旬の食材を取り入れて季節感や全国の郷土料理や世界各国の料理など、食に興味を持って頂き口から食べる喜びを感じていただきました。また行事食の告知を事前にPOPでお知らせし、導入部分より楽しんで頂きました。嗜好調査の評価を元に、更なる食事の質の向上を目指します。また介護職員の衛生管理意識を高め、お客様に安心して食事を召し上がっていただけよう指導に努めました。お客様の栄養状態維持・改善のため、ミールラウンドを積極的に行き、より個々に合ったプランニング・モニタリングに繋がりました。下期からの管理栄養士の変更に伴い、法人本部からの協力や連携を行い、共通献立や委託業者との連携方法を話し合い、より美味しいものを提供できるよう実践を行いました。次年度も引き続き他職種と連携し「口から食べること」を大切に「口腔機能維持・向上」に向けたケアを実践していきます。

#### 管理課 医務部門

感染症予防について勉強会を行い、コロナウイルス感染に備えた隔離対応や感染予防に努めました。今後も継続して感染症対策委員会を中心に勉強会を開催し、蔓延防止に努めて参ります。また、尿路感染症の予防対策として陰洗ボトルなどの備品の準備、指導を実施しました。下期より医務部門の再構築を行い、次年度に向けての体制作り、業務の見直しを行い、多職種と連携を強化して、ケアの質の向上を目指していきます。

### 【全体総括】

- ・年間目標稼働率に対し年間稼働率98.4%で目標達成できました。コロナウイルスの影響もあり待機者の急な延期やキャンセルなどがあり確保ができず退去から新入居へのタイムラグが長くなってしまいましたが、年間を通して多くのお客様に対し、最期まで寄り添った看取りケアを確実に行うことで、目標達成に繋がりました。今後はコロナウイルスの流行が続くことを見据え、退居から新入居へスムーズな対応ができるよう常時待機者3名以上、それに向けて新たな営業ツールを実施し、更なる稼働率向上を目指していきます。
- ・ベテランや新人職員問わず充実した研修を通し働きながら学び、意識を高め育成していくことについて、基礎的な介護技術から多くの福祉用具の使用法まで確実に取得することで各々のスキルアップに繋げ、積極的な資格取得に向けたサポートを行い、介護福祉士合格者3名でした。
- ・ゼロからのスタートを意識し、地域に向けて自施設を発信していくことにおいては、コロナウイルス流行ということもあり、地域へ向けた効果的な発信はできませんでした。今後は、自施設の魅力の再確認と新たな魅力を創り、地域への発信を強化していきます。

## 年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R1 実績	98.6	97.3	96.6	99.2	99.5	99.9	99.5	96.6	96.9	96.1	97.9	98.1	98.0
	R2 目標	98.7	98.5	98.3	97.8	97.8	98.0	98.5	98.5	98.2	97.8	97.8	98.5	98.2
	R2 実績	97.3	99.4	98.8	99.3	98.8	97.4	97.7	99.8	98.4	98.1	98.7	97.2	98.4

# 2020年度 かしわ翔裕園 事業報告

<b>施設基本方針</b>	
<p>All for one ～個々の力を最大限に発揮し、ONE TEAMとなり目標達成～</p>	
<b>施設年度目標</b>	
<p>①各事業の目標稼働、売り上げを達成すべく、PDCAサイクルの実践。 ②個別ケアの充実を目指し、お客様一人ひとりとの時間を大切にすべく効率化を図る。</p>	
<b>重点項目に対する実績報告(各事業ごと)</b>	
<p>【サービス付き高齢者向け住宅】 (目標96% 対目標比+0.2% 対前年比+4.7%)</p> <p>①待機者が確保出来ず退居申し出が発生後の営業によりかろうじて入居者を確保しタイムラグ発生も退居者4名と少なく目標クリアとなっている。併設デイ利用者からの問い合わせや募集が徐々に増加してきており、情報連携を図っている。</p> <p>②サ高住独自の自費サービスを導入、介護保険では提供出来ない部分の付加価値を追加したが、コロナの影響もあり需要があまりなく個別サービスが思うように提供出来なかった。しかしながら、オンラインでの買い物イベントを始め、居酒屋の開催や日頃からのレクリエーション活動をレベルアップし楽しんで頂ける企画を沢山提供すること出来た。</p> <p>【住宅型有料老人ホーム】 (目標95% 対目標比-2.7% 対前年比 -3.5%)</p> <p>①サ高住同様、退居発生からの新規獲得までに時間をより要し目標未達となった。特に夫婦部屋に関しては要望が少なく退居後からご入居まで2カ月程度の期間を要した。コロナの影響で入居後の面会や出入り制限を考慮される方も多かった。</p> <p>②個々の身体状況に応じた介護サービスが提供出来る様にインフォーマルな介護サービスを標準化し、ご入居者が重度化しても安心して必要な介護が受けられるよう調整を行っている。</p> <p>【通所】 (目標93% 対目標比-4.8% 対前年比-0.4%)</p> <p>①緊急事態宣言下の4カ月間、住宅系施設の方が休止となり稼働が低迷、目標稼働未達となっている。イベント開催や追加、振り替え利用の推進など既存ご利用者へのアプローチを強化し欠席分をフォローしている。</p> <p>②日々の選択クラブ活動とイベントを開催を盛り込み、ご利用者が楽しんで主体的にご参加頂ける活動展開、レストランメニューも好評を頂いており、個々の要望に寄り添うことが実現出来ている。</p> <p>【訪問介護】 (目標3573件 対目標比+324件 対前年比+192件)</p> <p>①個々の身体状況の変化に応じ区変申請、枠を広げサービスを追加することで目標訪問件数を上回り、介護報酬も確保することが出来た。要介護度の上昇に伴う体制の強化と連動し介護サービス量(件数)を調整している。</p> <p>②作業の効率化を図るべく、訪問の実施記録の電子化を導入、導入前後では1日40分程度の時間短縮となっており空いた時間でサービスを増やしたり、余暇活動や生きがい支援、レクリエーション活動などの時間を確保することが出来る様になっている。</p> <p>③人員の確保について退職や休職に伴う補充が職員からの紹介により数名を確保することは出来たが足りず派遣職員増となっている。また派遣の入れ替わりが早く指導に時間を要し、人員が安定せず常時不足といった状況であった。</p> <p>【居宅】 (目標40件 対目標比-15.5件 対前年比-15.3件)</p> <p>①訪問介護と連動し、ご利用者の状態の変化に合わせた申請や短期間でのアセスメントを行い、個々の支援に必要なケアプランを作ることが出来ている。1名体制により外部居宅とも連携を図り支援を行っている。</p> <p>②必要な社会資源を活用することで介護保険以外でも個別のニーズに応えることが出来る様に体制を整えている。</p> <p>【全体総括】</p> <p>施設全体の稼働について、入居においては退居から入居までのタイムラグによる稼働低下、通所においてはコロナ休止者が発生することで目標稼働未達の月が発生してしまい、より細かい調整が必要であった。人材については、年度当初は職員紹介による直接雇用の職員が増え進展していたが、退職休職に伴う補充が派遣となり入れ替わりの回転が速く人員が安定しない、または不足している状態が続いていた。また入居部門としては組織の再編成を行い、管理者を中心とした業務構築を実施、職員の配置転換を含めたサービスの均等化を図り、新たに看護師配置によるご利用者へ安定した介護、看護サービスを提供している。数字的には訪問介護のサービス増加、提供回数が予定数を大きく上回り、2期連続での黒字となっているが、派遣人件費の高騰や人員の定着や教育、接遇などに課題を要している。次期、主任を中心とした管理体制を築き職員一人ひとりがレベルアップすることでご利用者へのサービス向上に起因出来る様に指導を実施していく。</p>	

年間数値目標と実績(利用率)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
サ高住	R1 実績	96.0	93.9	92.3	84.3	88.5	91.3	89.2	87.2	85.2	94.4	98.0	98.0	91.5
	R2 目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
	R2 実績	96.4	96.0	96.5	100.0	98.8	92.3	92.0	92.0	99.0	96.8	96.0	98.0	96.2
有料	R1 実績	92.0	95.0	100.0	98.0	100.0	100.0	96.0	95.7	93.0	94.0	92.0	94.0	95.8
	R2 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R2 実績	94.7	94.5	97.4	96.5	93.3	89.3	88.0	92.0	92.0	88.0	90.0	92.0	92.3
通所	R1 実績	87.5	85.0	88.5	89.0	85.0	89.0	85.0	91.0	93.5	88.5	93.5	87.5	88.6
	R2 目標	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0
	R2 実績	74.8	72.1	90.0	90.0	81.0	83.0	96.3	92.0	93.0	94.8	96.0	95.5	88.2
訪問介護 (件数)	R1 実績	3445.0	3569.0	3540.0	3597.0	3588.0	3879.0	3987.0	3727.0	3608.0	3787.0	3763.0	3984.0	3706.2
	R2 目標	3525.0	3642.0	3525.0	3642.0	3642.0	3525.0	3642.0	3525.0	3642.0	3642.0	3290.0	3642.0	3573.7
	R2 実績	3847.0	4058.0	3947.0	4221.0	4090.0	3671.0	3721.0	3587.0	4099.0	3913.0	3760.0	3860.0	3897.8
居宅(件数)	R1 実績	39.0	40.0	40.0	38.0	43.0	40.0	42.0	42.0	43.0	44.0	38.0	29.0	39.8
	R2 目標	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	R2 実績	24.0	24.0	25.0	25.0	24.0	25.0	24.0	24.0	25.0	25.0	24.0	25.0	24.5

# 2020年度 ふなばし翔裕園 事業報告

施設基本方針														
シンクロ～Past and New～														
施設年度目標														
1. 職員満足度向上と組織体制強化による利用者満足度向上 2. 施設サービス部門と在宅サービス部門の連携による全事業適正な運営														
重点項目に対する実績報告(各事業ごと)														
<b>【特養】</b> 年間平均稼働率 96.0% (目標98% 対目標比 -2.0% 対前年比 +0.3%) ・目標稼働率達成できなかった 要因 ①新型コロナウイルスの影響による、入居前PCR検査のタイムラグや骨折による入院が発生し稼働率低下となる ・船橋エリアの在宅部門営業チームと連携する事で、在宅から施設入居の道筋を作ることができ稼働率維持ができた ・新型コロナウイルスの影響で事前調査に伺えない為、FAXにて情報共有を複数人同時に進めることで、入居待機者確保に繋げる事ができたが、入居直前に待機中施設でのクラスター発生等によりタイムラグができてしまい即日入居ができず介護、看護部門と連携し、機能訓練、自立支援に向けた生活リハビリについて取り組みを開始することができている ・精神科専門医の往診、嘱託医の往診による医療連携を行いながら、多職種が情報共有をしながら迅速な対応をすることができている <b>【短期入所】</b> 年間平均稼働率 98.47% (目標100% 対目標比 -1.53% 対前年比 -3.83%) ・目標稼働率達成できなかった 要因 ①年間新規登録者数37件、月3件の新規登録の目標達成し稼働の維持を図ることができた ・訪問、デイサービス、ショートステイにて、毎月営業会議を実施し、空き状況含めたお客様の情報共有、ケアマネの情報共有をしながら、実績配布時や契約時等、営業活動を実施することができた ・パーティーの活用にて飛沫予防策を徹底する等で、「コロナでも出来る事」を考え行事を開催し、広報ツールを活用しお客様の笑顔を、外部へと発信をすることができた。コロナ禍であったからこそおこなった新しい取り組みもあった <b>【訪問介護】</b> 年間平均訪問回数 402回 (目標400回 対目標比 +2回 対前年比 +8回) ・目標訪問回数達成となった 要因 ①自費サービスの増加や、既存のお客様のADL低下によるサービス増加依頼に迅速に対応することができた ・居宅ケアマネやヘルパーと密に連絡、情報共有することで、お客様の状況を把握し、個別ケアとサービス向上に繋げ満足度向上を図った ・コロナ禍で直接営業が難しい中、FAX、電話による営業を併用することで、市川、鎌ヶ谷エリア各居宅にふなばし翔裕園の訪問介護の発信することができ、問い合わせや新規契約へと繋がる <b>【通所】</b> 年間平均稼働率 91.4% (目標95% 対目標比 -3.6% 対前年比 -3.78%) ・目標稼働率未達成となった 要因 ①感染症対策、緊急事態宣言の発令等による利用中止者が増加したことで、稼働率低下へと繋がる ・地域密着型の特色、ふなばし翔裕園の特色を掛け合わせサービス提供を実施することができ、新規獲得、お客様満足度向上へと繋がった ・実績配布時や担当者会議、契約時等に各事業の書類一式の持参や各事業の説明等を行うことができ、船橋エリアとしての業務効率化や営業エリア拡大、連携性を高めることができた <b>【全体総括】</b> ・年間稼働率目標に対し訪問介護のみ目標達成し、特養、ショート、つかだデイにおいては、目標稼働を僅かながら下回る結果となる。一年を通しコロナウイルス感染症の影響を受けながらも、各事業、入居や退居等のタイムロスを最小限に抑える取り組みを迅速におこなうことで、稼働率を維持することができた。特養の空床利用についても柔軟且つ感染症対策を徹底しながらの受け入れや、ショートステイとデイサービスの空き状況やお客様情報の共有を密に実施する事で事前キャンセルの把握や、それに伴う受け入れの準備、合同営業活動においても効率的且つ最大限におこなうことができた。 ・組織力強化については、施設サービスと在宅サービス間で合同の勉強会や研修会を開催し職員全体に協働の意識を持たせることに繋がった。イベントや行事においては、全事業が連携し”本物”を追求することでクオリティの高いイベントを実施することができた。利用者満足度向上においては、個別機能訓練の開始と個別ケアの追求を通じて、お客様のQOLの向上と質の高いケアの実現に向けて活動を続けている。また、それらの活動を毎日更新の施設日記や広報誌で発信することで、お客様自身の広報誌を見る楽しみや、面会の出来ないご家族へのご様子の報告だけでなく、新規利用に繋がる営業活動や職員の採用活動へも繋がり、施設の活動全てが好循環させられる組織へと成長した。 ・特養においては、認知症ケアプログラムに対し座学で学んだ知識を実践へと活かし、多職種が連携しBPSDの減少やユニットケアの在り方を学び、個別ケアに向けた取り組みを進め、結果として多職種間の情報共有等を徹底することができた。既存福祉機器の定着と新規の福祉機器及び介護ロボットの導入を進め、次年度はノーリフティングケアを導入していく。														
年間数値目標と実績(利用率)														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R1 実績	96.1	94.8	95.2	96.6	95.7	96.3	94.4	94.3	98.0	96.8	96.0	93.8	95.7
	R2 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	R2 実績	94.6	95.7	97.3	97.1	94.3	94.8	94.2	96.5	97.7	96.3	95.0	98.8	96.0
短期	R1 実績	98.0	110.0	107.3	101.0	103.2	98.7	100.3	117.7	96.5	95.5	102.1	97.8	102.3
	R2 目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	R2 実績	94.0	97.4	99.7	95.5	94.8	103.7	98.7	99.0	95.8	96.8	106.8	100.3	98.5
訪問	R1 実績	357	377	398	442	367	383	433	455	414	369	359	378	394.3
	R2 目標	390	400	390	400	400	390	400	390	400	400	375	400	394.6
	R2 実績	363	392	403	417	360	372	419	419	417	413	434	424	402.8
つかだ	R1 実績	94.7	95.2	95.4	94.9	92.9	94.8	95.2	94.3	94.5	92.9	100.3	96.2	95.1
	R2 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R2 実績	95.5	98.8	97.9	92.3	85.8	91.4	91.1	94.2	93.9	77.6	91.9	86.7	91.4

# 2020年度 香流川翔裕園 事業報告

## 施設基本方針

さくら  
～安定した施設運営と職員教育体制の整備～

## 施設年度目標

- ①経営の黒字化
- ②職員体制・新人指導体制の整備
- ③季節行事・イベントの充実

## 重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

【特養】 年間平均稼働率 96.3% (目標95%)

- ・体調不良者の早期発見、早期対応による入院者の削減と入院者のご家族、病院との連絡を密に行い入院の長期化を防止することで、目標稼働率を達成することができました。
- ・入居待機者が小規模多機能を利用するようになり、空床発生時のスムーズな入居に繋げることができました。

小規模多機能での待機利用者以外に入居を進める際に、入居直前でのキャンセルが続き長期のタイムラグが発生することがあり、稼働率が大幅に低下した月がありました。

- ・職員の能力に即した個別の指導体制の整備と面談による悩みの把握、解消により離職率が低下しました。
- ・お客様の生活スタイルや嗜好を反映したアクティビティをご用意し、日々の余暇活動の充実に繋がりました。活動の様子を毎日ブログに掲載したり、写真を添えた手紙を送ることで面会が困難な状況の中でもご家族にご様子の報告をすることができました。

【グループホーム】 年間平均稼働率 98.5% (目標95%)

- ・主治医や訪問看護との医療連携にて体調不良者への早期対応を行い入院者を削減することができました。また、骨折に繋がる大きな転倒事故もなく、目標稼働率を達成することができました。
- ・新人職員に対し成長過程に合わせた指導と定期的な面談を繰り返すことにより早期離職を防止できました。昨年度、南ユニットオープンの際には不足人員を派遣職員8名で補っていましたが、直接雇用への切り替えが進み3名まで削減することができました。
- ・グループホームのキッチンで食事を作ることでお客様が家事活動へ参加する機会を増やしました。第4四半期からの開始となりましたが、月1回から週1回の実施に頻度を上げることができました。

【小規模多機能】 年間平均稼働率 77.9% (目標87.5%)

- ・毎月の登録者が20名前後で推移し定員の25名に達することができず目標稼働率未達となりました。特養、グループホームの入居待機者が毎月3名程度利用するようになり、泊りサービスの提供回数と収入の増加に繋がりました。
- ・通いサービスを中心に利用されるお客様が多いことで利用の希望に添えないケースが発生することがあり、訪問を中心としたサービス提供体制への移行を目指しました。既存の登録者では通いを訪問に切り替えることができませんでしたが、新規登録者については訪問中心での利用に移行しています。訪問サービス提供回数が3月には4月比+約90件となりました。
- ・毎月営業活動の振り返りを行い精度の高い活動ができる状態を目指しました。GG式収益力改善マニュアルを活用し、営業ロールプレイの定期的な実施や営業チラシの見直しを行うことで、近隣住宅や病院との関係性を少しずつ深めることができ相談や紹介の件数の増加につながりました。
- ・3事業の営業活動をまとめて行うことで入居待機利用での申し込みの増加に繋がりましたが、訪問中心での利用相談件数は変動がなく営業活動での課題の一つとなりました。居宅や地域包括からの問い合わせ件数が伸びないため、ポスティングチラシの配布を開始しました。利用に繋がる問い合わせはまだありませんが、コロナ禍で地域活動に制限がある中で事業所の知名度の向上に繋がると考え継続して実施しております。

【全体総括】

営業活動の精度の向上と入院者の削減により各事業の稼働が安定し、経営の黒字化を達成することが出来ました。小規模多機能においては登録者が定員の25名に到達せず満足できる結果ではありませんでしたが、入居待機者の利用の促進により特養、グループホームの稼働率が向上し、香流川翔裕園利用のスタイルの一つとして居宅や病院からの相談が増加しました。一方で入居待機利用以外での相談や申し込みは増加していないため、訪問を中心としたサービスの利用をより魅力的に提案し、登録者の増員を目指します。

職員教育については職員個別の研修計画の立案により、新人職員の早期離職の防止と指導側の職員の成長に繋がりました。指導者の経験や感覚に頼る指導からマニュアルを使用した指導に切り替え、定期的な面談を実施し悩みの把握と解決に努めました。教育体制は改善しましたが事業所により教育方法やマニュアルが一部異なるため、今年度は全体で統一した教育ができる体制の整備を進めて参ります。

季節行事やイベントは感染対策のため一部制限はありましたが、地域性を意識したイベントを介護職員自ら考え計画し、お客様に楽しんでいただくことができるようになりました。

初年度は運営状況も職員体制も安定せず不安の多い1年でしたが、2年目の令和2年度は自分達の努力が数字や形となって現れるようになり、職員の表情も明るく変化していきました。令和3年度は職員がより主体性を高め、変化を楽しみながら成長できる組織作りを目指して参ります。

## 年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R1 実績				93.1	91.8	93.0	92.1	99.2	99.7	95.5	95.9	97.7	95.3
	R2 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R2 実績	100.0	95.0	93.0	93.1	95.3	97.9	99.0	96.5	93.2	94.7	97.5	100.0	96.3
GH	R1 実績				48.6	47.1	50.0	50.0	46.1	64.0	71.0	83.1	98.0	62.0
	R2 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R2 実績	94.1	97.1	100.0	100.0	100.0	96.9	99.6	100.0	99.5	96.2	98.4	100.0	98.5
小多機	R1 実績				95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R2 目標	80.0	80.0	80.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	87.5
	R2 実績	67.5	72.2	69.7	72.7	79.2	85.2	79.8	78.7	86.5	78.8	74.7	89.2	77.9